「サステナビリティ関連のリスク及び機会の識別」におけるガイダンスの情報源と「識別したリスク及び機会に関する重要性がある情報の識別」におけるガイダンスの情報源の比較

2025 年 5 月 30 日公表

目　的

1.　本文書は、「サステナビリティ関連のリスク及び機会の識別」におけるガイダンスの情報源の定めと、「識別したリスク及び機会に関する重要性がある情報の識別」におけるガイダンスの情報源の定めを理解するために参考となる情報を提供することを目的としています。

キーワード
サステナビリティ関連のリスク及び機会の識別、識別したリスク及び機会に関する重要性がある情報の識別、ガイダンスの情報源

何が求められているのか

2.　SSBJ 基準は、企業の見通しに影響を与えると合理的に見込み得るサステナビリティ関連のリスク及び機会に関する情報を開示するにあたり、次のことを行うために用いるガイダンスの種類を「ガイダンスの情報源」として定めています（適用基準第 40 項から第 43 項及び第 50 項から第 55 項）。

(1)　サステナビリティ関連のリスク及び機会の識別

(2)　識別したリスク及び機会に関する重要性がある情報の識別

3.　適用基準におけるガイダンスの情報源に関する定めを比較すると、別紙のとおりとなります。

SSBJ 基準の定めは、重要性がない項目に対して適用する必要はないことにご留意ください。

以　上

SSBJ ハンドブックは、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）事務局が SSBJ 基準の利用者の便宜を考慮して作成したものであり、サステナビリティ基準委員会の審議を経ていない。
また、SSBJ ハンドブックに含まれる本文書は、公表日又は更新日現在のものであり、今後、更新する場合がある。

別　紙

	リスク及び機会の識別	識別したリスク及び機会に関する重要性がある情報の識別
適用しなければならない	• SSBJ基準	• 識別したリスク又は機会に具体的に適用されるSSBJ基準の定め
		リスク又は機会に具体的に適用される定めが、サステナビリティ開示基準に存在しない場合、次のような情報を識別するために**判断**を行わなければならない。 (1) 主要な利用者の意思決定に関連性がある情報 (2) そのサステナビリティ関連のリスク又は機会を忠実に表現する情報
参照し、その適用可能性を考慮しなければならない	• IFRS財団が公表する「SASBスタンダード」（2023年12月最終改訂）における開示トピック	（上記の**判断**を行うにあたり、SSBJ基準と矛盾しない範囲で） • IFRS財団が公表する「SASBスタンダード」（2023年12月最終改訂）における開示トピックに関連する指標
参照し、その適用可能性を考慮することができる	• ISSBが公表するIFRSサステナビリティ開示基準及び付属するガイダンス • IFRS財団が公表する「水関連開示のためのCDSBフレームワーク適用ガイダンス」及び「生物多様性関連開示のためのCDSBフレームワーク適用ガイダンス」 • 主要な利用者の情報ニーズを満たすように要求事項が設計されている他の基準設定主体（ISSBを含む。）による直近の公表文書 • 同じ産業又は地理的地域において事業を営む企業によって識別されたサステナビリティ関連のリスク及び機会	（上記の**判断**を行うにあたり、SSBJ基準と矛盾しない範囲で） • ISSBが公表するIFRSサステナビリティ開示基準及び付属するガイダンス • IFRS財団が公表する「水関連開示のためのCDSBフレームワーク適用ガイダンス」及び「生物多様性関連開示のためのCDSBフレームワーク適用ガイダンス」 • 主要な利用者の情報ニーズを満たすように要求事項が設計されている他の基準設定主体（ISSBを含む。）による直近の公表文書 • 同じ産業又は地理的地域において事業を営む企業によって開示された情報（指標を含む。）
		（上記の**判断**を行うにあたり、主要な利用者が企業に資源を提供するかどうかに関する意思決定を行うにあたり有用であり、また、SSBJ基準と矛盾しない範囲で） • グローバル・レポーティング・スタンダード・ボード（GSSB）が公表する「GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード」（GRIスタンダード） • 欧州連合（EU）の企業サステナビリティ報告指令（CSRD）に定められる「欧州サステナビリティ報告基準」（ESRS）

※下線は SSBJ 事務局による強調

以　上

SSBJ ハンドブックは、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）事務局が SSBJ 基準の利用者の便宜を考慮して作成したものであり、サステナビリティ基準委員会の審議を経ていない。
また、SSBJ ハンドブックに含まれる本文書は、公表日又は更新日現在のものであり、今後、更新する場合がある。